

～山紫水明とは～

山が紫色に見え  
川が透き通って見えて美しいこと  
またはその様に美しい心

# 「山紫水明」

## 山梨地域環境保全 活動委員会



写真：笛吹川上流から差出堰の取り入れ付近を望む

### 「山紫水明」 過去と現在

笛吹川から取り入れられている差出堰を農業用水の取水源としている当地域はぶどうやももなどの果樹栽培が盛んな地域です。

この地域は山梨市西部に位置する太良ヶ峠付近を分水嶺とした流域の夕川、平等川、西平等川等が集まっているため、豊富な水資源に恵まれています。ホタル、オニヤンマ、コイやハヤなど多様な生き物が生息し、国蝶のオオムラサキも生息するなど貴重な自然環境が広がっています。

しかし、ゴミの不法投棄等により水質が悪化したことで、水辺の生き物が徐々に姿を消し、自然環境に影響を及ぼす恐れがありました。

### 山梨地域環境保全活動委員会 次世代に向けて

そこで、疎水百選にも選出された歴史ある差出堰を流れる豊富な水資源の保全や貴重な地域資源の保全活動を行い、「山紫水明」の自然豊かな地域を取り戻そうと、平成19年に、自治会、育成会、水利組合、JA等で構成する山梨地域環境保全活動委員会を設立し、様々な取り組みを始めました。

現在、様々な取り組みが実を結び、ゴミの減少や住民の環境意識の向上により生き物が増え、以前の自然環境に戻りつつあります。「今後は活動を通じて環境だけではなく、地域の文化を次世代につなげ、地域をより活性化していきたい」と当委員会事務局長の萩原さんは話していました。



ホタル



オニヤンマ



オオムラサキ

# — 取り組み内容 —

## 活動の三本柱



取り組みは、大きく分けて「農業支援」「自然保護」「環境美化」の3つを柱として活動をしています。

「農業支援」では、有害鳥獣の駆除や農道・農業用水路の補修工事など地域全体で農業を支えています。

「自然保護」では、子ども達の手作り看板を設置する取り組みや錦鯉を放流する取り組みなど、意識啓発を目的とした活動を行っています。

「環境美化」では、河川清掃や公園清掃、沿道に花のプランターを設置するといった地域環境向上に向けた活動を行っています。

これらの活動の下、環境豊かな地域の姿を取り戻すため様々な取り組みを推進しています。



錦鯉の放流

自然保護

○万力公園銅像周辺の堀



子供達の手作り看板

自然保護

地域の子ども達が看板を作り街中に設置することで、貴重な水資源や環境保全の意識向上を啓発します。



河川清掃

環境美化

地域住民が集まり、農繁期に向けた水質保全活動を行います。



農道整備

農業支援

住民参加による道づくりを行うなど地域ぐるみで農業を支えています。